

令和 7 年度ひろしまの森づくり事業の普及啓発に係る業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和 7 年 10 月 20 日 9 時 30 分から 11 時 45 分まで
2	場 所	広島県庁本館 4 階 広島海区漁業調整委員会室
3	出席委員	公益社団法人広島県みどり推進機構 事務局長 一般社団法人広島県森林協会 常務理事 広島県農林水産局 林業振興担当部長 広島県総務局広報課 クリエイティブ・ディレクター ひろしまの森林づくりフォーラム 事務局長
4	議 題	標記プロポーザルに係る企画提案内容の審査
5	担当部署	ひろしまの森林づくりフォーラム（農林水産局森林保全課）
6	開催方法	① 参集 2 持ち回り
7	議事内容	1 審査方法 提案された企画提案書に対し、プレゼンテーションによる審査を行い、提案者を最優秀提案者として選定した。 2 審査結果 （1）審査対象者（提案書提出順） ・株式会社中国新聞社 ・株式会社中国四国博報堂 ・株式会社明宣社 （2）最優秀提案者 ・株式会社中国新聞社 （3）選定委員の評価 （株式会社中国新聞社） ・過去の広報実績の分析がよくできており、目標である目標認知度 25% 達成に対する広報戦略が練られている点が評価できる。 ・目標達成のためには、仕様書で示したメインターゲット以外の世代にも訴求する必要があるとの分析により、細かい年代ごとの広報媒体が的確に選択されていた。

		(株式会社中国四国博報堂) ・これまで継続して当業務を実施してきた実績があり、確実性が評価できる。また、資材等がそろっており、契約後、すぐに広報を実施できる点にアドバンテージを感じられる。 ・Web 広報からホームページに誘導し、その後の行動にまで言及しているところも評価できる。 ・一方で、これまでの広報からの新規性を感じられず、提案が認知度目標の達成に資するかどうかについては疑問を感じる点があった。 (株式会社明宣社) ・仕様書内では、広報媒体例として TV 等主だった手段を示していたが、他社とは異なり、県民が実際に体験する中で事業を認知できるような独自の広報手段を取り入れる等の新規性が魅力に感じる。 ・一方で、SNS を用いた広報と違って視聴回数等で評価ができないことから KPI が曖昧であった点が、評価につながらなかったものと思料する。
--	--	---